



2025年3月期 第1四半期

# 決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2024年8月9日

<b>1. 2025年3月期 第1四半期決算</b>	.....	<b>3</b>
<b>2. セグメント概況</b>	.....	<b>7</b>
<b>3. 2025年3月期 業績予想</b>	.....	<b>14</b>
<b>4. トピックス</b>	.....	<b>15</b>
<b>5. Appendix</b>	.....	<b>17</b>

売上高

310 億円

前年同期比

+11.0%

営業利益

33 億円

前年同期比

+19.6%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

27 億円

前年同期比

+15.4%

売上高

- 引き続きスポーツ活動が活発に行われ、当社もさらなる市場の活性化に向けた草の根販促活動や、大会や選手活躍の話題を活かした情報発信に注力
- 新製品の販売好調など当社製品への需要の高まりが見られ、中国ではバドミントン用品を中心に販売伸長
- 海外では円安に伴う業績換算の上押し効果もあり、連結で過去最高売上高を計上

営業利益

- システム関連費用や人件費、広告宣伝費等の販管費は増加
- 粗利率の改善に加え、増収による粗利増加の影響が大きく増益

# 一 連結業績

(百万円)

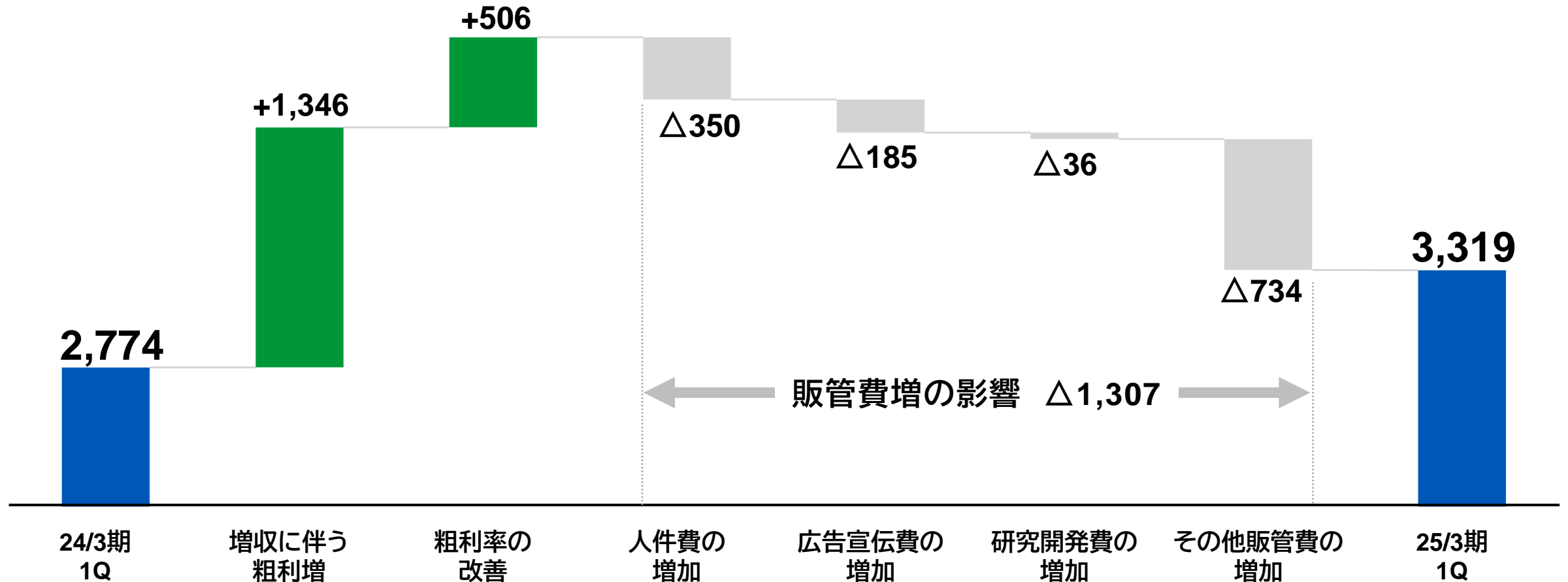
	2024年3月期 1Q 実績	2025年3月期 1Q		増減率 (増減額)	2025年3月期 予想*	
		実績	売上比		上期	通期
売上高	27,992	31,067	—	+11.0% (+3,074)	62,500	126,000
売上総利益	12,255	14,107	45.4%	+15.1% (+1,852)	—	—
販管費	9,480	10,788	34.7%	+13.8% (+1,307)	—	—
営業利益	2,774	3,319	10.7%	+19.6% (+544)	6,200	12,500
経常利益	3,245	3,734	12.0%	+15.1% (+489)	6,200	12,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,424	2,797	9.0%	+15.4% (+373)	4,400	9,300
1株当たり四半期純利益	27.82円	32.33円	—	+4.51円	50.85円	107.49円

※ 2024年5月10日公表値

# 一 連結営業利益 増減分析

グローバルでのIT強化に伴うシステム関連費用や、減価償却費を含むその他販管費、および人件費等の販管費は増加したものの、増収と主に日本セグメントの粗利率改善等に伴う粗利増加が上回り増益

(百万円)



# 一 連結貸借対照表

有形固定資産は、テニス新工場、研究開発施設(Yonex Performance Innovation Center)およびその他工場関連の設備投資等により増加

## ● 資産

	2024年3月末	2024年6月末	増減額
現預金	23,549	26,397	+2,848
受取手形・売掛金	17,135	19,180	+2,044
棚卸資産	16,743	17,717	+974
有形固定資産	26,109	28,324	+2,214
無形固定資産	2,333	2,019	△313
その他	5,355	6,611	+1,256
<b>資産合計</b>	<b>91,226</b>	<b>100,252</b>	<b>+9,025</b>

## ● 負債・純資産

(百万円)

	2024年3月末	2024年6月末	増減額
買掛金・支払手形	6,390	8,225	+1,834
有利子負債	7,750	8,709	+958
その他	16,184	19,371	+3,187
<b>負債合計</b>	<b>30,325</b>	<b>36,306</b>	<b>+5,981</b>
自己資本	60,703	63,755	+3,052
非支配株主持分	197	189	△8
<b>純資産合計</b>	<b>60,901</b>	<b>63,945</b>	<b>+3,044</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>91,226</b>	<b>100,252</b>	<b>+9,025</b>

## セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

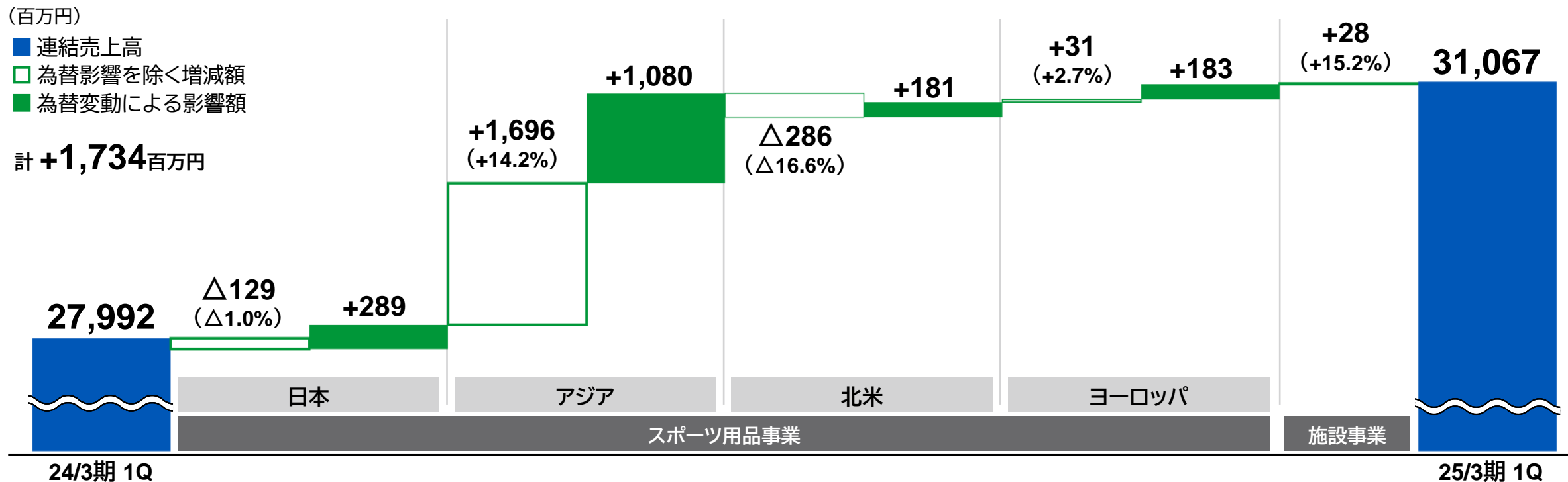
セグメント	2025年3月期1Q 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象		
	売上高	営業利益		販売	製造	
スポーツ用品 事業	日本	13,133	604	42.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨネックスジャパン(日本国内向け)</li> <li>・海外代理店向け※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟工場</li> <li>・東京工場</li> <li>・ヨネックス精機</li> </ul>
	アジア	14,685	2,350	47.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨネックス中国</li> <li>・ヨネックス台湾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨネックス台湾</li> <li>・ヨネックスインド</li> <li>・ヨネックステクニファイバー(タイ)</li> </ul>
	北米	1,627	225	5.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨネックス北米(アメリカ・カナダ)</li> </ul>	
	ヨーロッパ	1,406	135	4.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨネックスドイツ</li> <li>・ヨネックスイギリス</li> </ul>	
スポーツ施設事業		214	71	0.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営</li> </ul>	

※ 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

# セグメント別売上高への為替影響

すべての通貨で円安が進行し、業績換算時の円安効果が連結での増収に寄与。日本セグメントは為替影響を除くと減収となったものの、海外代理店向け販売における為替換算の上押しにより増収

為替レート	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
24/3期 1Q (1-3月)	19.34円	4.34円	132.33円	142.09円	160.88円
25/3期 1Q (1-3月)	20.62円	4.72円	148.60円	161.30円	188.48円
前年同期比	+6.6%	+8.8%	+12.3%	+13.5%	+17.2%





売上高

13,133百万円

前年同期比  
+1.2%

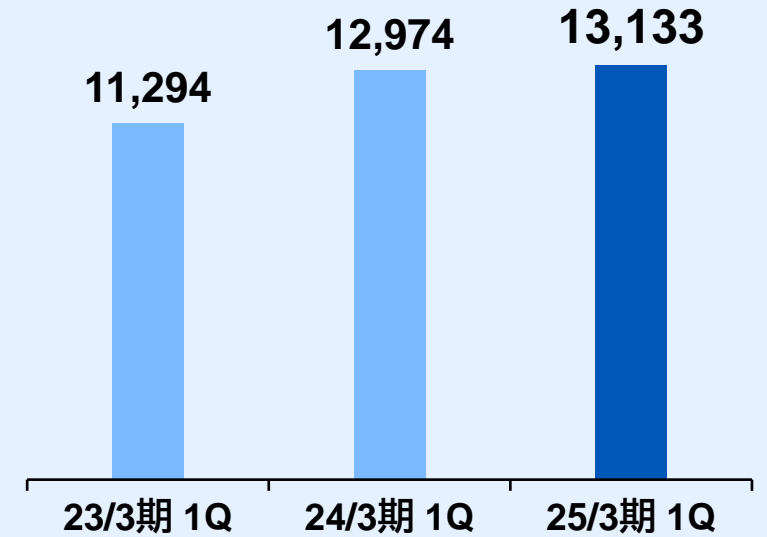
国内

バドミントンは需要が引き続き堅調で増収となり、ラケットの販売においては台湾製の販売増加も寄与。テニスソフトテニスラケットの新製品販売好調もありラケットの販売が増加したものの、ここ数年の販売増加が一段落し減収。国内向け全体では増収

海外代理店

市場は引き続き堅調も、大幅増収となった前年同期と比べて減収。為替換算が業績を上押し

(百万円)



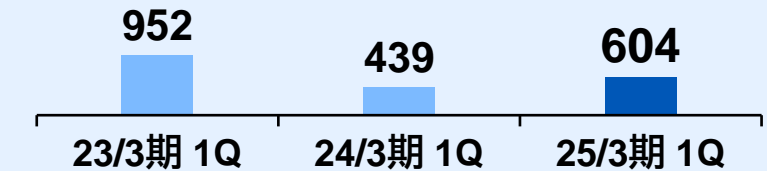
営業利益

604百万円

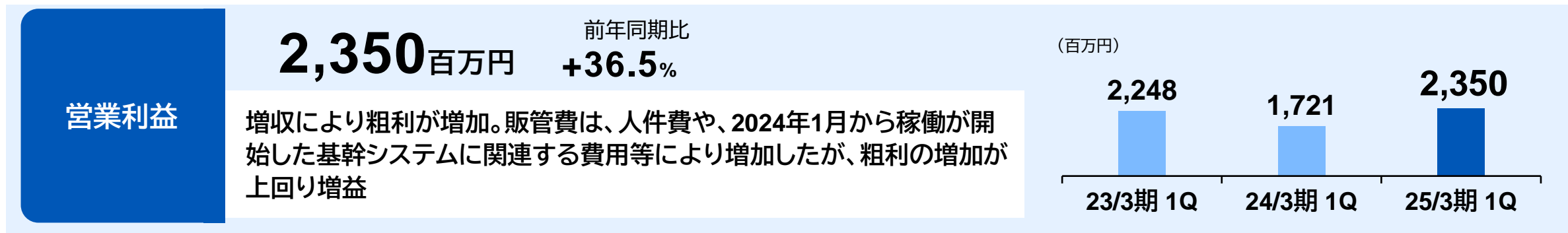
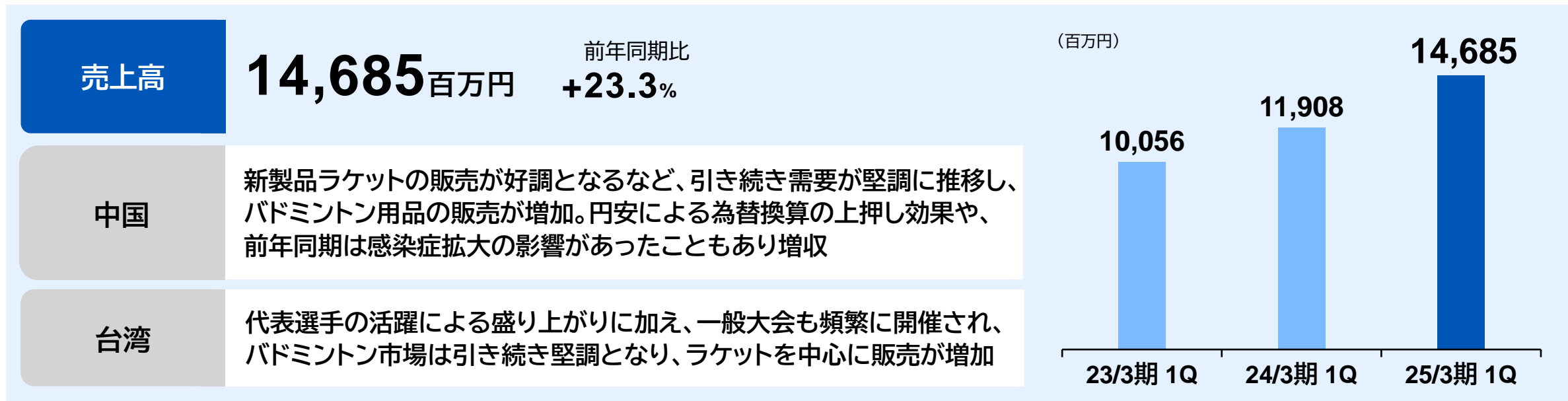
前年同期比  
+37.6%

増収に加え、国内は円安による仕入価格の上昇に伴い粗利率が低下した一方で、海外向けは出荷価格見直しの効果等で粗利率が改善し、粗利が増加。販管費は、システム関連費用、人件費、グローバルでの広告宣伝費等により増加も、粗利の増加が上回り増益

(百万円)



# スポーツ用品事業 アジア



● 為替レート

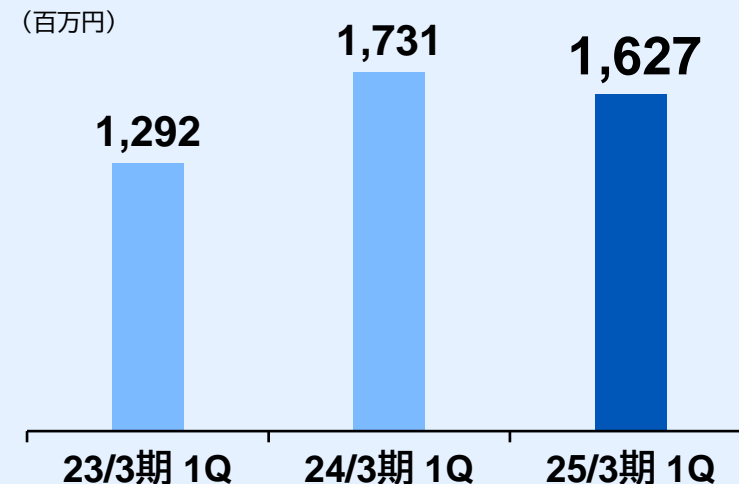
	2023年1-3月	2024年1-3月	前年同期比		2023年1-3月	2024年1-3月	前年同期比
1RMB	19.34円	20.62円	1.28円 円安	1TWD	4.34円	4.72円	0.38円 円安

# スポーツ用品事業 北米

## 売上高

**1,627**百万円 前年同期比  $\Delta 6.1\%$

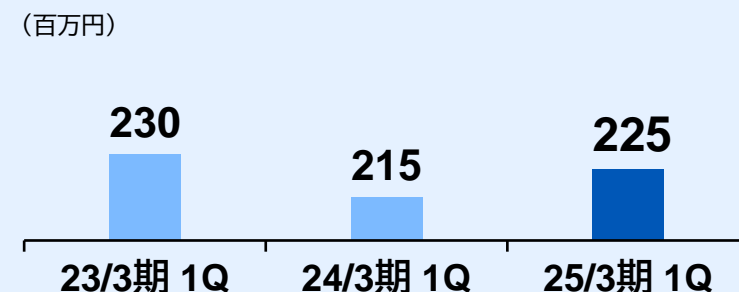
バドミントンは、特にカナダにおいてバドミントンクラブの数が増加するなど引き続き競技は活発に行われているものの、活動再開で販売が大幅に増加した前年同期に比べて減収。テニスは、市場在庫水準が改善傾向となり販売が回復していることに加え、為替換算による上押し効果により増収。全体では減収



## 営業利益

**225**百万円 前年同期比  $+4.9\%$

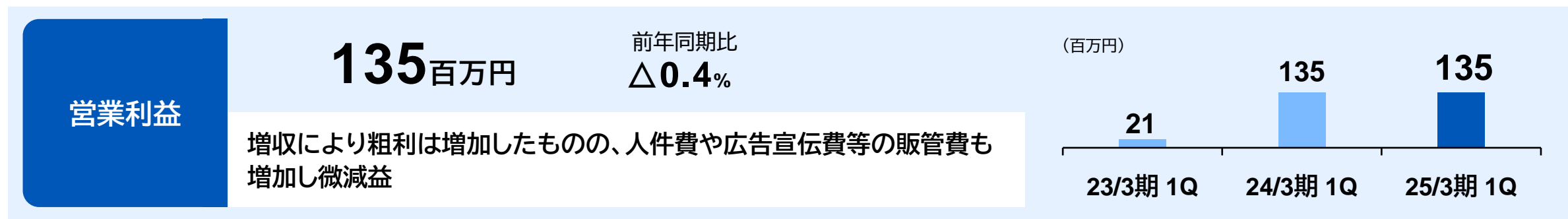
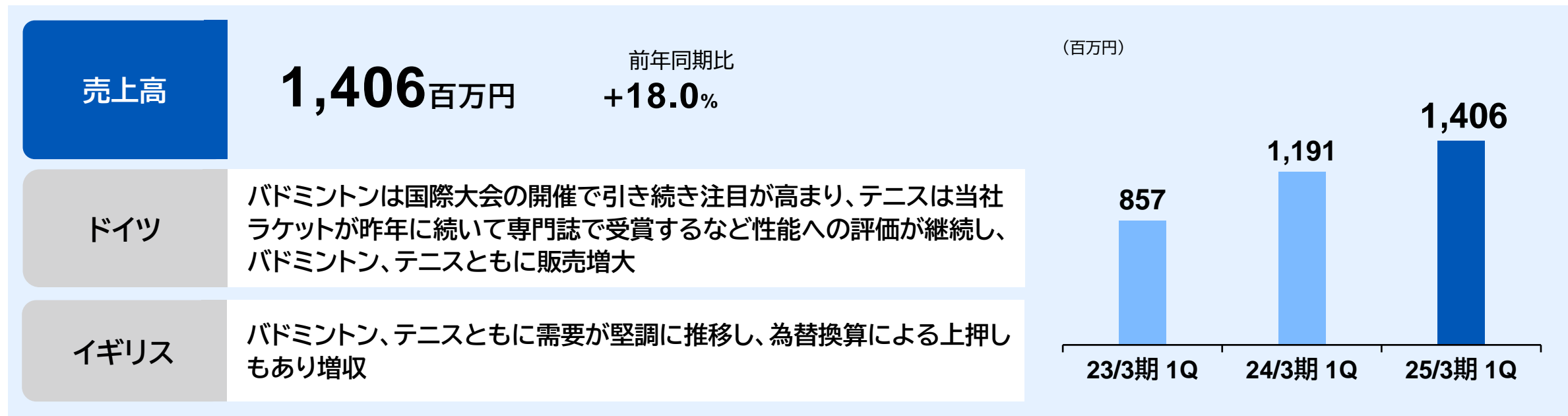
人件費等の販管費は増加したものの、粗利率の改善や、円安による換算の上押し効果もあり増益



### ● 為替レート

	2023年1-3月	2024年1-3月	前年同期比
1USD	132.33円	148.60円	16.27円 円安

# スポーツ用品事業 ヨーロッパ

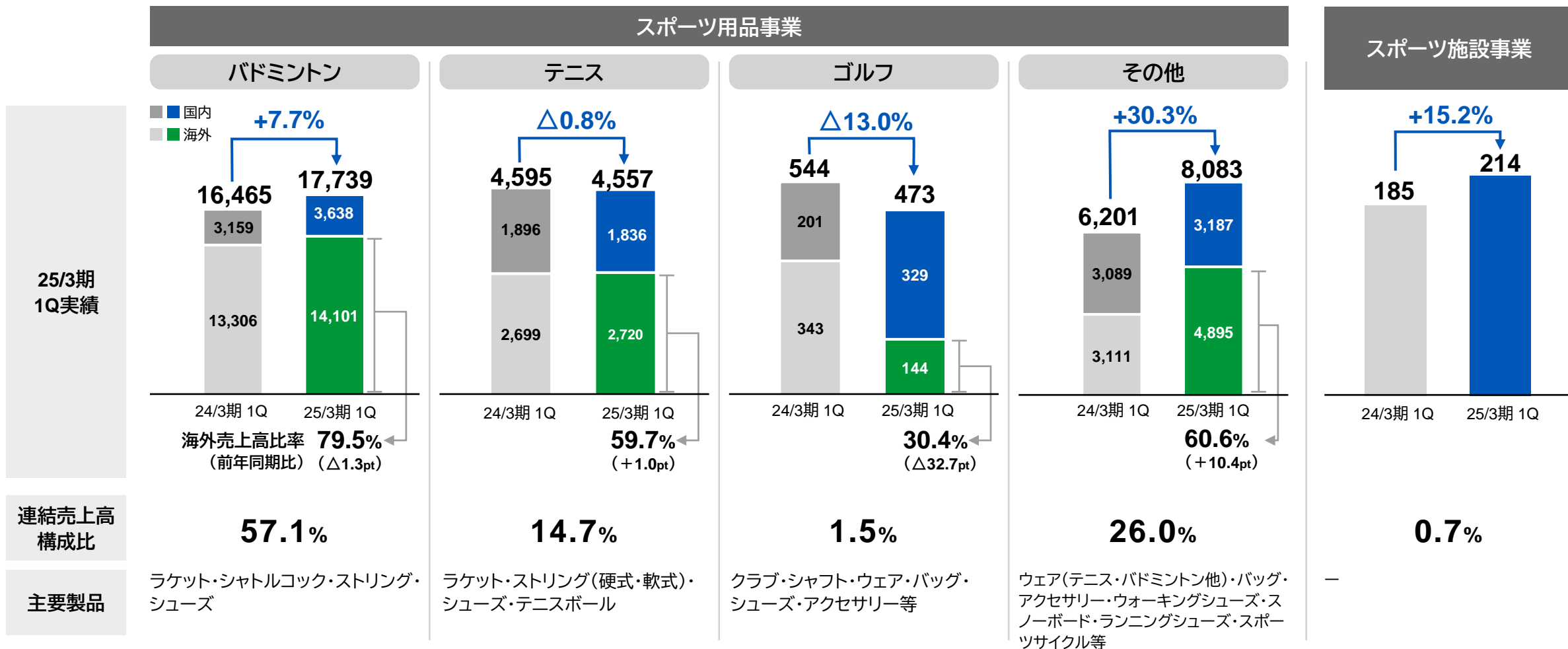


● 為替レート	2023年1-3月	2024年1-3月	前年同期比	2023年1-3月	2024年1-3月	前年同期比	
	1EUR	<b>142.09</b> 円	→ <b>161.30</b> 円	19.21円 円安	1GBP	<b>160.88</b> 円	→ <b>188.48</b> 円

# — 種目別売上高

バドミントンは国内・海外ともに増収。テニスは国内では減収となったものの、ヨーロッパや北米を中心に海外では増収

(百万円)



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

# — 2025年3月期 業績予想(変更なし)

引き続き緩やかな成長を維持しながら、グローバル成長戦略(GGS)に沿って中長期の成長に向けた投資に取り組む

## ● 予想の前提

- 外部環境は引き続き不透明なもの、スポーツや健康の価値が見直される中で、今後もスポーツを楽しむ人々は世界中で増えていく見込み
- 中長期を見据えたマーケティングと人財への積極的な投資と、ITやものづくりの強化に向けた設備投資に伴う減価償却費が増加の見込み

## ● 為替レート (期中平均) (円)

	24/3期 実績	25/3期 予想
1RMB	19.81	19.8
1TWD	4.50	4.5
1USD	140.55	150
1EUR	151.98	160
1GBP	174.85	185

(百万円)	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		増減率(増減額)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	57,725	116,442	62,500	126,000	+8.3% (+4,774)	+8.2% (+9,557)
営業利益	5,612	11,611	6,200	12,500	+10.5% (+587)	+7.7% (+888)
営業利益率	9.7%	10.0%	9.9%	9.9%	+0.2pt	△0.1pt
経常利益	6,220	12,195	6,200	12,500	△0.3% (△20)	+2.5% (+304)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,396	8,859	4,400	9,300	+0.1% (+3)	+5.0% (+440)

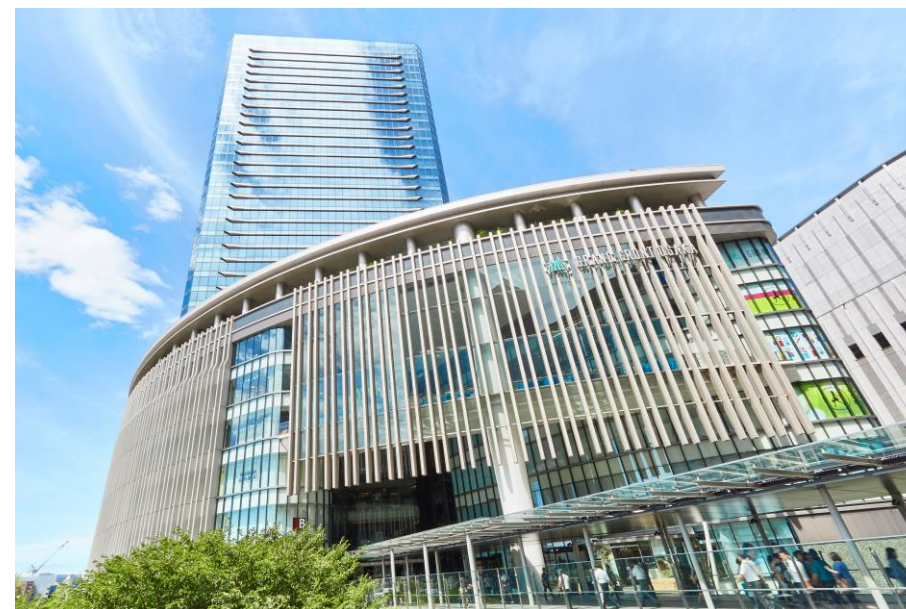


# ー 大阪・梅田に関西エリア初のショールームをオープン「YONEX OSAKA SHOWROOM」

2025年大阪・関西万博の開催地となる大阪に、ヨネックスとして世界で3店舗目のショールームをオープン予定。DTC強化の一環として、「お客様起点」のものづくりやサービス向上につなげる拠点に



▲ エントランスのイメージ



▲ 大阪・梅田の主要商業施設「グランフロント大阪」内に立地

## 大阪ショールームの特徴

ヨネックスショールームの中で最大級の約1,000㎡の店舗面積を誇り、豊富な商品ラインナップや展示、体験コーナーを設ける。店舗での体験を通じて弊社の「ものづくりとイノベーション」を伝えるとともに、お客様の声を頂き、お客様とのコミュニケーションを強化する

## 店舗概要

- 店舗名: YONEX OSAKA SHOWROOM
- 住所: 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪 南館地下1階
- 店舗面積: 1,001㎡



詳細はこちら ▶ <https://www.yonex.co.jp/news/company/2024/1680.html>

# 一 国際大会における大会・選手のサポート

バドミントン、テニスなど、各種目の国際大会において、用具・サービスの提供により、大会や選手の活躍をサポート

## ● 大会での用具・サービスの提供

### バドミントン

BWF※公認として、世界のツアー大会でシャトルコック、コートマット、ネット、ポール、ストリングングサービスなどを提供。\*Badminton World Federation(世界バドミントン連盟)

### テニス

2016年より全豪オープンのオフィシャルストリンガーを務める

パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会においても、ソールサプライヤーとしてテニス・バドミントン競技をサポートしています。



◀2024年全英選手権では、これまでにないグレーのコートマットを採用

## ● 各国代表チームのウェア(バドミントン)

高機能で、プレー中の動きやすさに特化したウェアで代表選手のプレーを支える



日本



中国



韓国



ドイツ



台湾

▶当社ストリングングマシンを用いたストリングングサービス(テニス全豪オープン)







# Appendix

## 一 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

### ● 2025年3月期 1Q連結決算の対象期間(会社別)

	2024年												2025年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

## ー セグメント別売上高推移

	(百万円)				
	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q
日本 (国内+海外代理店向け)	3,353	9,522	11,294	12,974	13,133
アジア (子会社)	3,428	5,524	10,056	11,908	14,685
北米 (子会社)	679	642	1,292	1,731	1,627
ヨーロッパ (子会社)	639	344	857	1,191	1,406
施設事業	98	144	192	185	214
<b>連結売上高</b>	<b>8,199</b>	<b>16,178</b>	<b>23,694</b>	<b>27,992</b>	<b>31,067</b>

### 日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売  
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

### アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

### 北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

### ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

# 一 地域別(仕向地別)売上高推移

(百万円)

	2021年3月期 1Q	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q
日本	2,352	7,360	8,388	8,532	9,206
海外売上高	5,846	8,818	15,306	19,460	21,860
アジア地域	4,073	7,334	11,620	14,982	17,261
北米地域	679	642	1,292	1,731	1,627
ヨーロッパ地域	1,024	514	1,988	2,318	2,534
その他	69	327	405	426	437
<b>合計</b>	<b>8,199</b>	<b>16,178</b>	<b>23,694</b>	<b>27,992</b>	<b>31,067</b>
海外売上高比率	71.3%	54.5%	64.5%	69.5%	70.4%

**日本** | スポーツ施設事業を含む日本事業  
**アジア地域** | 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他  
**北米地域** | アメリカ・カナダ

**ヨーロッパ地域** | ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他  
**その他** | オーストラリア・中近東・中南米 他

※海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。